

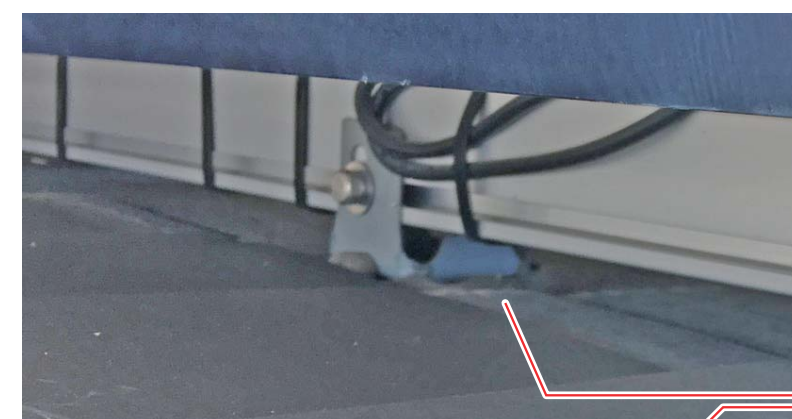
シーガード C/guard 太陽光モジュール周りを施工する際の注意点



●モジュール上部の納まり

モジュール上部はラックにかかるコロニアルの段の1段上まで納める。その際施工しない箇所のコロニアルにクラックがある場合はしっかりとシリコンなどでクラックを埋めてください。また未塗装のコロニアルが暴露することが気になる場合は事前の板金塗装時に該当箇所を塗装されてもよろしいかと思います。

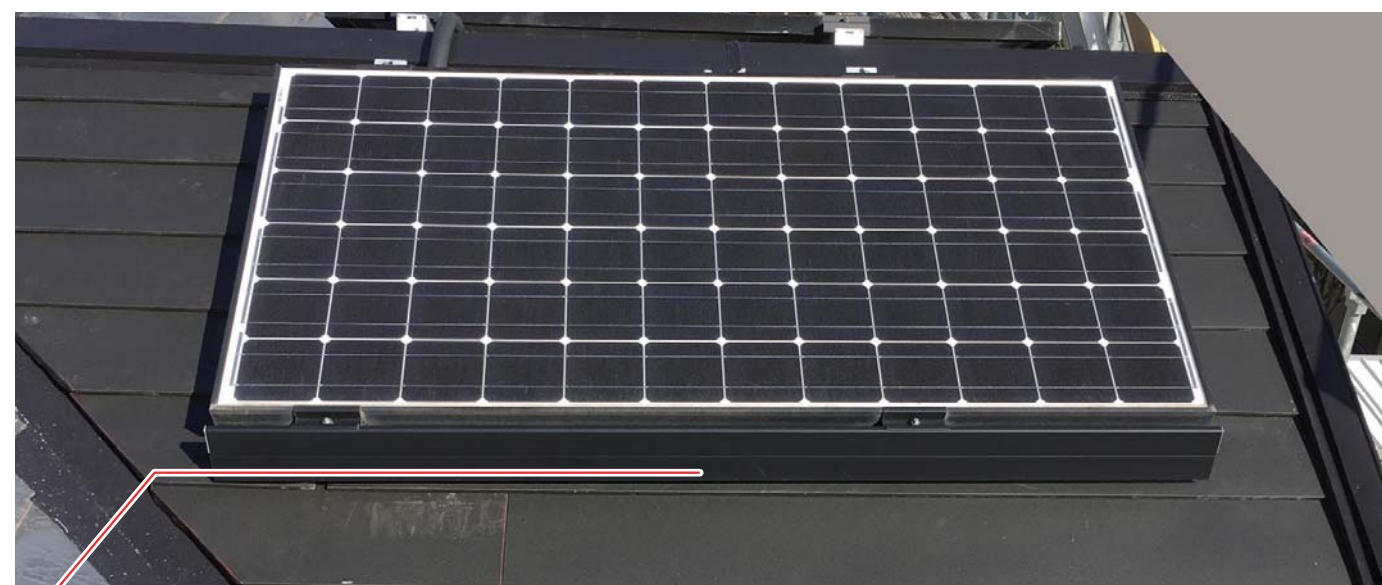
ラックがかかる箇所へのシーガードの施工は大変困難です。特に写真のような棟際はかなり難易度が高いので塗装仕上げをお勧めいたします。



●モジュール左右ラック回りの納まり

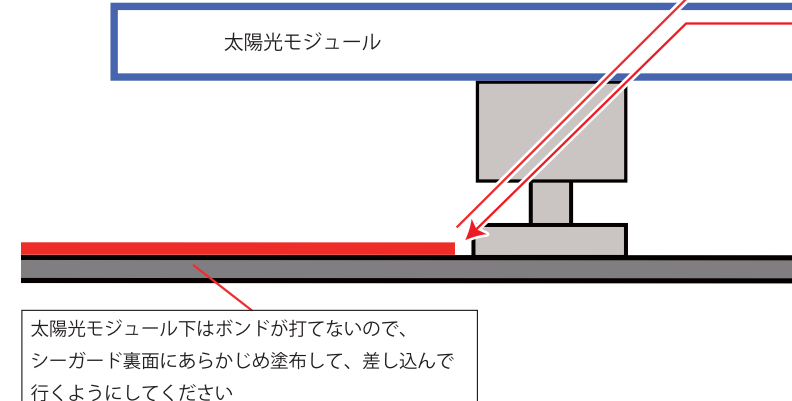
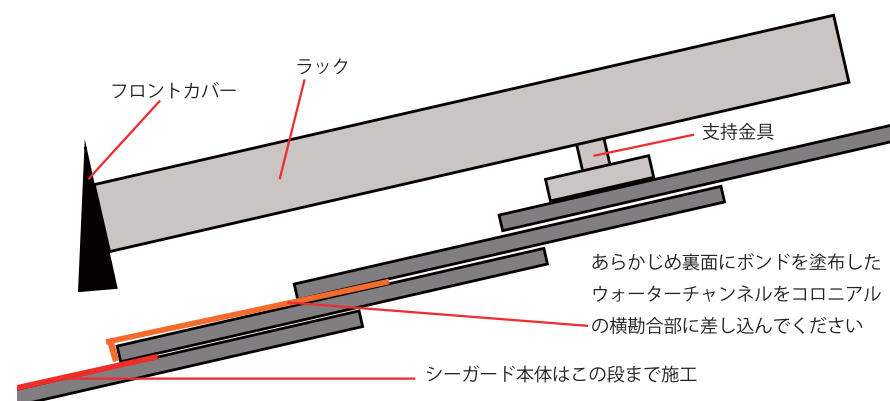
支持金具の手前50～100mmできりばなしで納めていきます。(写真は金具に詰め過ぎて、入りにくかった。そして実際には納まりが見えないのでここまで頑張らなくてもよかった・・・) 施工にあたって下記の注意点に留意して施工してください。

シーガード本体金具の手前50～100mm程度で終わるように納める。端部は切りばなし。



●モジュールフロント部の納まり

ラックの前端部(またはフロントカバー)に差しかかる場所までシーガードを施工します。ただしその上に段のコロニアルのジョイント部には、必ず「あらかじめ裏面にボンドを塗布したウォーターチャンネルをコロニアルの横動合部に差し込んでください」を徹底してください。



●金具の underside への締め付け具合によってシーガードがうまく入らない時があるので下図のように金具際だけ下あごをの底部のみカットすると入りやすい。

